

今尾ゼミ紹介



・はじめに

こんにちは。今尾ゼミ 22 期ゼミ長の齋藤です。3 年次になると大学生活の醍醐味である“ゼミ”が始まりますね。法学部では多くのゼミが開講されており、どのゼミにしたら良いのか悩んでいる方も多いと思います。ここでは、今尾ゼミの普段の活動内容やイベント、魅力などをご紹介しますので、ゼミ選択の参考にいただければと思います。

・今尾 真 先生

今尾先生は、ユーモア溢れる、生徒思いの優しい先生です。ゼミの事だけではなく、ゼミ生各々の進路等も先生の方から気にかけて下さり、相談にのって下さいます。ゼミ中、先生のご指摘されることは、問題の表面ではなく本質の議論へと導いて下さるもので、ゼミ生はいつもそのご指摘に「なるほど…」と理解し、学習します。教え方も面白く、テンポよく、例をあげながら説明して下さるので、とてもわかりやすいです。(ゼミ生の中には1、2年生次に今尾先生の講義を受け、先生の教え方の良さからこのゼミを希望した人も多くいます。) 学ぶ時は努力を惜しまず、遊ぶ時は思いっきり遊ぶこと、そういったメリハリを大切にしています。公私ともに心から尊敬している先生です。

・22 期ゼミ

22 期今尾ゼミは 4 年生 3 名、3 年生 18 名の計 21 名 (男子 10 名、女子 11 名) で活動しています。また、今年度は CC クラブの方 2 名が普段のゼミに参加して下さい、議論を盛り上げて頂いています。



• 普段のゼミ

今尾ゼミでは民法判例百選掲載の総則、物権、債権の判例研究をします。判例の概要をただ見るのではなく、様々な資料を読んで、当該判例における事実の整理、主張や抗弁の抽出、判決の論理構成、法的論理の事案への当てはめ、類似の先例や学説等を分析します。

ゼミの進め方は、4~5名程度で構成される班でサブゼミ(グループで行う事前の勉強会)を行った上でゼミに出席し、ゼミでは報告班の発表後、全員の討論によって議論を深めることで、問題点の解明に当たります。

ゼミ当日だけでなく、事前準備も大切です。議論の活発化や判例の本質を掴むために、報告班可否かを問わず、相当の勉強量を要します。

自主性や本質を理解する能力、また、自分の意見をしっかりと伝える力を身に付けられるようになります。

• イベント

今尾ゼミは、勉強だけでなく、楽しいイベントで盛り沢山です。定期的な飲み会やゼミ合宿、法学部のイベントを通して、ゼミ生同士の親睦、他ゼミとの交流も深めます。また、OB・OG会も開催されるので、先輩方から貴重なお話を聞ける機会もあります。

ゼミ合宿は毎年、宮崎産業経営大学の明石ゼミと合同で行います。今年度は大木ゼミとも合流し、明石ゼミの宮崎県に行ってきました。事前に課された課題を基に討論を行った後、宮崎観光・川遊び・BBQ・花火・飲み会等で親睦を深めました。

<ゼミの流れ>

①ゼミ前

- 判例についての資料集め・研究
- 各班でサブゼミ
- その週の報告班は、併せてゼミで使うレジュメを作成する

②ゼミ当日

- 報告班による発表
- ↓
- 発表に対する質疑応答
- ↓
- 討論**



また、今尾ゼミでは毎年、法学部の一大イベントである法律討論会に参加しています。他ゼミも参加している中、今年度は今尾ゼミのチームが1位、2位を頂くことができ、今年度で4年連続1位、2位を今尾ゼミが頂いています。日頃のゼミで培った力を存分に発揮する事が出来ました。

その他にも法学部のイベント（スポーツ大会等）に積極的に参加してゼミ生との絆を深め、畑ゼミ・黒田ゼミと合同討論会を行って普段のゼミ内で学んだ知識や討論の術を活用し、更なる実力の向上を目指せる機会も充実しています。

• おわりに

今尾ゼミの様子を見てみて、どう感じられましたか。

私がこのゼミを希望した理由は、今尾先生の授業のわかりやすさ、面白さ、そして今尾ゼミに入れば、勉強・遊びどちらも充実した大学生活を送れると思ったからです。実際に今、今尾ゼミに入って良かったと心から思います。もちろん、最初は大変な事が多かったです。どんなに勉強してゼミに臨んでも、自分が納得できない結果になったときの悔しさ。しかし、それを糧にしてさらに努力することで、自分を次の段階にステップアップさせることができます。今尾ゼミ生は皆、勉強と遊びにメリハリのある生徒です。ゼミ生と協力して行うサブゼミやイベントを通して、かけがえのない仲間と出会うことができました。どんな大学生活を送りたいかは人それぞれですが、法学部に入ったからこそ、法学の知識や考え方を身につけたかった私にとって、今尾ゼミはとても大きな存在です。

勉強が苦手で、ついて行けるか心配…と不安に感じる必要はありません。今尾ゼミに入って、仲間と協力しながら、努力次第で成長していくことができます。

今尾ゼミに少しでも興味を持って頂けましたらぜひ見学に来てください。

ゼミ生一同、お待ちしております。

